

株主の皆様へ

日本板硝子株式会社

第158期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

証券コード:5202



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループの第158期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の概況についてご報告申し上げます。

2024年6月

日本板硝子株式会社
取締役 代表執行役社長兼CEO

細沼 宗浩

2024年3月期は、主要通貨の円安、燃料価格の下落の追い風はあったものの、世界的なインフレに伴う原材料費、人件費等のコスト上昇、特に下半期には欧州の景気減速や欧米の金利上昇の影響を大きく受けました。かかる事業環境のなかで中期経営計画「リバイバル計画24(RP24)」最終年度として引き続きコスト削減、付加価値製品の拡大、販売価格の改善に努め、自動車用ガラス事業が前期比で大幅に改善しました。

結果、当期の業績は、売上が前期比9%増の8,325億円(前期は7,635億円)、営業利益は前期比3%増の359億円(前期は348億円)となりました。また税引前利益は176億円(前期は219億円の損失)、当期利益は109億円(前期は310億円の損失)、親会社の所有者に帰属する当期利益は106億円(前期は338億円の損失)とのれん・無形資産の減損損失を個別開示項目に計上した前期より大幅に改善しました。ただ、RP24の財務目標数値のうち自己資本比率およびフリー・キャッシュ・フローは達成したものの、営業利益率および純利益は達成できませんでした。

2025年3月期は、前述の2024年3月期下半期と同様の厳しい事業環境が継続する見込みです。一方で建築用ガラス事業では、引き続き太陽電池パネル用ガラスの需要が堅調で、昨年12月に稼働を開始したマレーシアの新設備が通年で寄与し、

北米でも既存設備を太陽電池パネル用ガラスの生産用に転換いたします。また自動車用ガラス事業では、そのペースは落ち着くものの自動車生産制約の解消に伴い販売数量が回復する見込みで、販売価格改善交渉も継続いたします。高機能ガラス事業では、依然高い利益率を確保する見込みです。事業環境の変動に伴う業績影響の低減をさらに進め、本年5月に発表いたしました新中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」に基づき、4つのD(Business Development、Decarbonization、Digital Transformation、Diverse Talent)を軸とした戦略を通じて、収益性の強化、キャッシュ創出力強化により有利子負債の抜本的な削減を推進し、自己資本を増強してまいります。

当社グループでは、持続可能な事業の業績と財務基盤をベースにして、安定的に配当を実施することを利益配分の基本方針としておりますが、当期の普通株式の期末配当につきましては、当社グループの財務状況等を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら、その実施を見送ることいたしました。

配当は株主の皆様にとって非常に重要なものであると認識しており、グループの一層の業績改善、財務基盤の強化に注力し、一日も早い配当再開を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

売上高 **832,537** 百万円

(単位:百万円)



営業利益 **35,860** 百万円

(単位:百万円)



親会社の所有者に
帰属する当期利益 **10,633** 百万円

(△は損失)

(単位:百万円)



注1: 当社は国際会計基準 (IFRS) に基づいて連結財務諸表を作成しています。
注2: 上記に記載の営業利益は、個別開示項目ベースの営業利益を記載しています。

NSG at a Glance

2023年4月1日~2024年3月31日

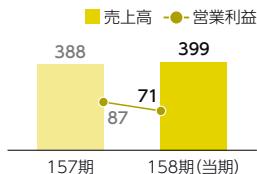
高機能 ガラス

5%

- 日本、中国、欧州に主要製造拠点

- ニッチ市場でNo.1 / オンリー1

- ・ 事業により濃淡があり一部製品で需要が減少したが、売上は微増。
- ・ 営業利益はIT市場の減速や投入コストの上昇等の影響を受け減益。

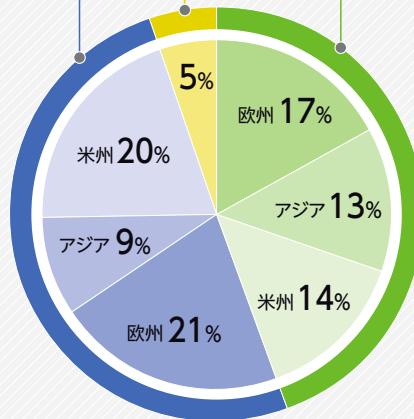


自動車用 ガラス

50%

- 14か国に主要製造拠点
- 補修用ガラスの流通・販売で世界最大級

- ・ 部品不足による自動車生産制約の影響が緩和し、欧州、アジア、米州で販売数量が回復。
- ・ 投入コストが増加したが価格改善交渉もさらに進捗し、大幅な増収増益を達成。



建築用 ガラス

45%

- 世界に27のフロート窯
- 薄膜太陽電池パネル用ガラスのリーディングサプライヤー

- ・ 日本、南米市場に加え太陽電池パネル用ガラスが堅調で、欧州等が減速したものの売上は微増。
- ・ 営業利益は下半期に欧州等の経済減速の影響を大きく受け通期で減益。



NSGグループの中期ビジョン

2030 Vision: NSGグループが目指す姿

当社が強みを持つ「ガラスとその周辺技術」に焦点を当て、
社会の持続可能な発展に貢献する高付加価値領域での収益拡大を目指す

ゴール

企業としてのフェーズを変え、 持続可能な社会の発展に不可欠な存在を目指す

コミットメント

- 私たちは、すべてのステークホルダーのために、そしてステークホルダーとともに、持続可能な社会を実現する価値を創造する
- 私たちは、顧客のソリューションにおいて重要な役割を果たすガラスとその関連技術・サービスを開発し、提供する
- 私たちは、顧客の潜在的なニーズを深く理解し、有形無形の資産を活用して顧客に適したソリューションを提供する
- 私たちは、グローバルで多様性に富み、ガラスに情熱を持ち、才能あふれるチームを誇りとし、人材への投資を続けていく

前中期経営計画「リバイバル計画24 (RP24)」の振り返り

主要施策を推進した結果、持続的成長基盤の構築に一定の成果を得ることができ、財務目標のうち、「自己資本比率」および「フリー・キャッシュ・フロー」は3年連続で達成しましたが、「営業利益率」および「純利益」は未達でした。

●主要施策

3つの 改革

コスト構造改革
事業構造改革
企業風土改革

2つの 重点施策

財務基盤の回復
高収益事業へのポートフォリオ転換

●財務目標の達成状況

財務目標	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	2024年3月期 RP24目標
営業利益率 ^{*1}	3.3%	4.6%	4.3%	8%
純利益 ^{*2} (△は損失)	41億円	△338億円	106億円	3年累計 300億円以上
自己資本比率	15.5%	10.2%	12.3%	10%以上
フリー・キャッシュ・フロー	223億円	139億円	153億円	100億円以上

※1 無形資産償却後営業利益率 ※2 親会社の所有者に帰属する当期損益

新中期経営計画「2030 Vision:Shift the Phase」の概要

4つの「D」を戦略の中心に据え、収益性の強化、キャッシュ創出力の強化により有利子負債の抜本的な削減を推進し自己資本の増強を目指していきます。

●戦略方針

Shift the Phase (フェーズを変える)	Business Development (ビジネスデベロップメント)	・社会の変化に適応し、顧客と共に新たなソリューション・技術を開発することで高い付加価値を創造
	Decarbonization (脱炭素化)	・2050年のカーボンニュートラル達成を目指し、持続可能な社会発展への貢献の重要アジェンダとしてサプライチェーン全体を通じた脱炭素化
	Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)	・デジタルをフル活用してオペレーションを刷新し、付加価値創出能力を底上げ ・データとプロセスの標準化を徹底して情報統合度を高め、グローバルマネジメントの質と速度を飛躍
	Diverse Talent (多様な人材)	・戦略の要である強い人材と組織を築くため、明確な人事戦略のもとでの投資 ・4つのF [Flatな組織、Frankな対話、Fastな意思決定、職場でのFun]の引き続きの浸透

●財務目標

		2024年3月期	2027年3月期
収益性 (P/L)	営業利益	359億円	640億円
	営業利益率 (ROS)	4.3%	7%
キャッシュ創出 (C/F)	フリー・キャッシュ・フロー	153億円	270億円
財務基盤の安定化 (B/S)	有利子負債	5,065億円	4,420億円
	自己資本比率	12.3%	15%
資本・投資効率	ROE	9.6%	20%

※ただし、資本・投資効率としてのROEは参考指標としてモニタリング

新中計経営計画の詳細はこちらをご参照ください

https://www.nsg.co.jp/-/media/nsg-jp/ir/ir-presentations/mtp2030presentation_j01.pdf



TOPIC
1

太陽電池パネル用ガラスの市場拡大

世界的に太陽電池パネルの需要が増大する中、2023年11月にマレーシア・ジョホールバル工場と同パネル用ガラス製造設備新設工事が完了し、12月に操業を開始しました。同製品の市場拡大に対応して、2020年にベトナムで2窯目の専用ラインを稼働させたほか、米国オハイオ州・ラッキーでも新工場を稼働させるなど生産能力を増強しており、今後も米国オハイオ州・ロスフォード工場において製造設備新設を計画しています。



ジョホールバル工場(マレーシア)

TOPIC
2

欧州初のカーボンキャプチャー実証実験を開始(英国)

2024年3月、板ガラス業界として欧州初のカーボンキャプチャー(CO₂分離回収)実証実験を、英国事業所のフロート窯において開始したことを発表しました。CO₂回収はカーボンニュートラル実現のための重要な施策となりうるものです。本実験は、英国の国家プロジェクトの一環として行われ、フロート窯に設置されたCO₂回収溶媒ユニットによって、ガラス製造工程においても排出ガスからCO₂回収が可能であることを実証しています。



プロジェクトパートナーと共に

TOPIC
3

より安心安全なグラスコードを実現 ～有害物フリーの接着剤を開発～

グラスコードは、ガラス繊維を特殊加工したゴム・樹脂製品の補強材で、自動車、機械、OA機器などの分野で幅広く使用されています。その製造プロセスで使われる接着剤について、この度、環境への影響が懸念されるレゾルシン、ホルムアルデヒド不使用の接着剤を開発し、より安心安全なグラスコードを実現しました。



グラスコード製品群

TOPIC
4

第3回日経統合報告書アワード 「新人賞」受賞

475社・団体が参加し、3カ月以上にわたる数次の審査を経て高評価企業に各賞が授与される中、初参加の当社の統合報告書は「特に環境社会関連の開示は秀逸でガバナンスの開示も充実」と高く評価をいただき、新人賞を受賞しました。



NSGグループ統合報告書2023

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当9月30日・3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(郵便物ご送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話ご照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間9:00-17:00 (土日休日を除く)

▶ ご住所変更などのお届出およびご照会について

〈証券会社に口座をお持ちの株主様〉

取引口座のある証券会社にお問い合わせください。

〈証券会社の口座をお持ちでない(特別口座の)株主様〉

上記の(電話ご照会先)までお問い合わせください。

サステナビリティへの取り組みを通して、
持続可能な社会の実現に貢献します



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	日本板硝子株式会社
本店	〒108-6321 東京都港区三田三丁目5番27号 (住友不動産三田ツインビル西館)
設立	1918年11月22日
従業員数(連結)	25,356人
資本金	116,853百万円
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード:5202)
お問い合わせ	https://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us

▶ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(最低取引単位に満たない1~99株の株式)をご所有の場合、当社に対して、

- (1) 買取請求または
 - (2) 買増請求(ご所有の単元未満株式と併せて1単元(100株)に達するまでの株式を買い増すこと)
- をすることができます。

お手続きの詳細につきましては、左記 ▶[ご住所変更などのお届出およびご照会について](#)に記載の照会先にお問い合わせください。

当社ウェブサイト・SNSのご案内

当社ウェブサイトでは、決算情報や最新ニュースなど、投資家の皆様への様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



<https://www.nsg.co.jp/>

Facebook



X(旧Twitter)



Follow me!

当社公式
SNSキャラクター
Nグマくん

